

# 人民币週間レポート

2026年1月30日発行

みずほ銀行（中国）有限公司  
中国為替資金部

**MIZUHO**

瑞穗銀行

# 【人民元為替概況】

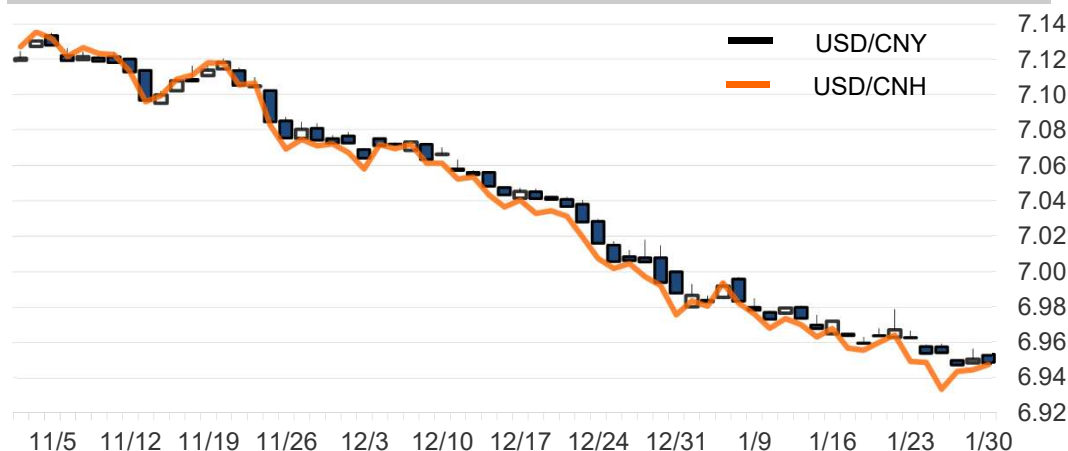
**回顧: USDCNYはじりじりと値を下げ一時6.94半ば水準まで元高が進行。**

- ドル人民元(USDCNY)は26日、6.95半ばでギャップダウンしてオープン。PBOC基準仲値が前週末比元高水準となる6.98台で設定されたことを受け、上値の重い推移となった。27日は前日とほぼ同水準でPBOC基準仲値が設定されたこともあり、USDCNYは狭いレンジで推移したが、トランプ米大統領が「ドル安を懸念していない」と発言したことを受け、為替市場全般にドル売りが進行。28日には全般的なドル売りの流れを反映し45Pips元高の6.9500でオープンとなった。序盤はドル売り人民元高が進行し6.94台半ばまで下落したが、終盤にかけて反発し6.95台を回復。ベッセント財務長官が為替介入を否定し、従来の強いドル政策を堅持する姿勢を示したことで、29日は6.95台でオープンするも上昇は続かず。6.945付近までじりじりと値を下げる展開となった。30日はPBOC基準仲値が6.96台に設定され、11時時点では、6.95付近で推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は、前週末にNY連銀がレートチェックを実施したとの観測報道を受けて大幅に円買いが進行し6日4.50付近でギャップアップしてオープン。27日には一時4.5割れ水準まで下落。日銀公表の当座預金増減要因を踏まえると大規模な介入を実施した形跡は無いとみられるが、日米協調介入への警戒感や、トランプ米大統領からのドル安容認発言を受けてドル円が2円程度急落する動きに連れ、円買いが進行し4.55台を回復。28日は同水準にて揉み合い推移となったが、米国時間にベッセント財務長官の為替介入否定発言を受けて円売りが進行し4.51台まで下落した。29日は4.53台に上昇してオープン。NY時間に4.55台をつけるも上値は重く、30日11時時点では4.51付近で水準にて推移している。

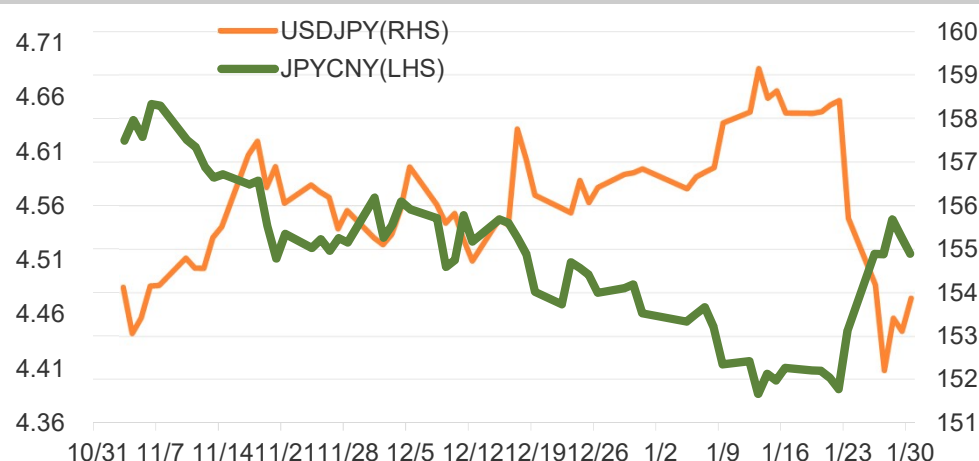
**見通し: 日米金融政策イベント等を通して、方向感に乏しい推移を予想。**

- トランプ米大統領からのドル安容認発言も後押しとなり、市場全般でドル安が進行する流れを受けて、USDCNYも6.94台まで下落。先週末以降、PBOC基準仲値も節目も7.0割れ水準にて設定。週間を通して元高水準にて設定されており、反転の材料も見当たらない状況。また日米ともに金融政策イベントを通して、為替相場は方向感が出づらくレンジ推移となる可能性が高いが、日米要人発言のヘッドラインによる相場変動には警戒が必要。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



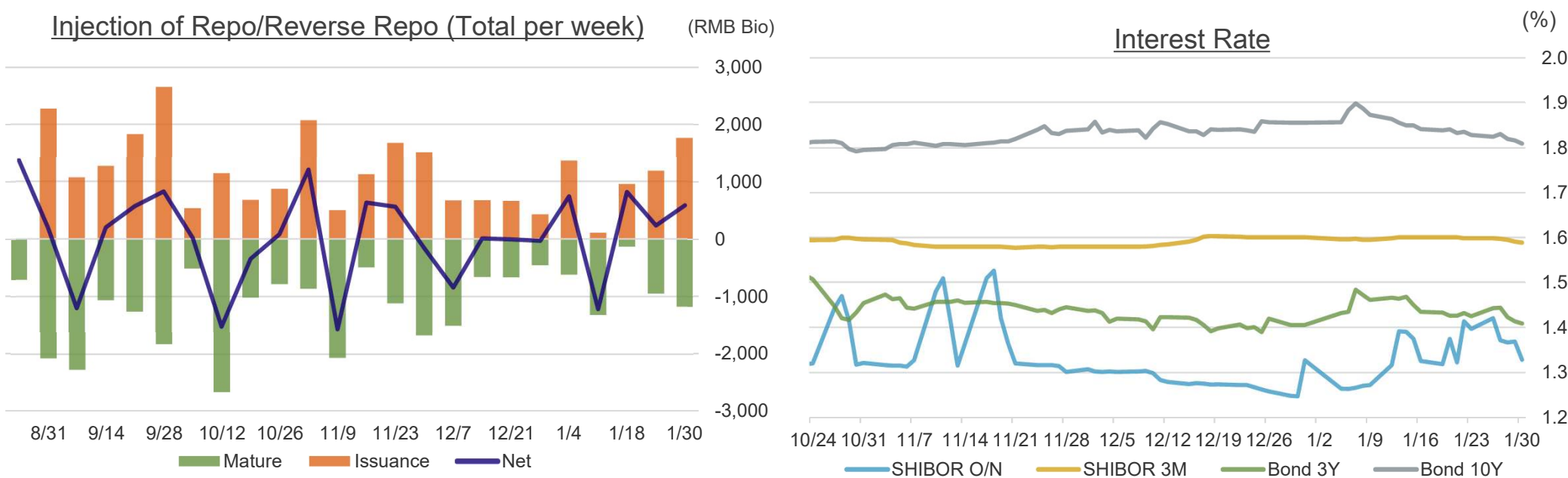
# 【人民元金利概況】

## 回顧: 月末を控え、PBOCは潤沢な資金供給を実施

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計1兆7,615億元の資金供給を実施、ネットで5,805億元の資金供給となった。また26日にはMLF(中期貸出ファシリティ)の2,000億元満期が到来。7日物リバースレポの満期到来分とネットで3,805億元の資金供給となった。
- 短期資金市場は、月末を控えて、週初は流動性が小幅にタイト化しO/N金利は1.4%台に上昇するも、PBOCによるNet資金供給が行われる中、O/N金利は1.3%台に低下。
- 債券市場は、中長期ゾーンを中心に金利低下。5年債利回りは1.58%近辺、10年債1.81%近辺にて推移。

## 見通し: 春節に向けた資金流動性の動向・中国景況感指標に注目

- 短期資金市場は、月初の資金吸収の動きに留意が必要だが、基本的には安定的な流動性が維持される可能性が高い。春節を控え、季節的な資金需要が高まれば、一時的に短期金利が上昇する可能性もある。債券市場は、小幅な値動きが継続も中長期ゾーン中心に上値の重い展開が継続か。
- 週末以降、中国製造業PMI、非製造業PMIが公表予定。前回公表分は、製造業PMIも9ヶ月ぶりに好不況の節目となる50を回復。今月も節目の50を上回り、景況感の持続的な改善が示唆される内容となるかには注目したい。



# 【TOPICS】 日銀は政策金利を据え置き

- 1月22-23日に開催された日銀金融政策決定会合において、政策金利を0.75%に据え置くことを決定。植田総裁会見では「ビハインドザカーブにならないよう適切に政策を運営」としつつも、次回以降の利上げについては慎重な姿勢が示された。
- 同時に発表された展望レポートでは、26年度の成長率見通しを+1.0%に上方修正(10月時点は0.7%)。また物価見通しについても26年度は+1.9%に引き上げた。声明文における「物価見通しのリスクは概ね上下にバランスしている」との文言と整合的。
- ドル/円相場については、植田総裁会見中こそ円安が進むも、その後は下落し1日の値幅は3円強となった。今週もランプ米大統領のドル安容認や、ベッセント財務長官の為替介入観測否定発言等を受けて、不安定な値動きとなっている。

日銀政策金利の推移

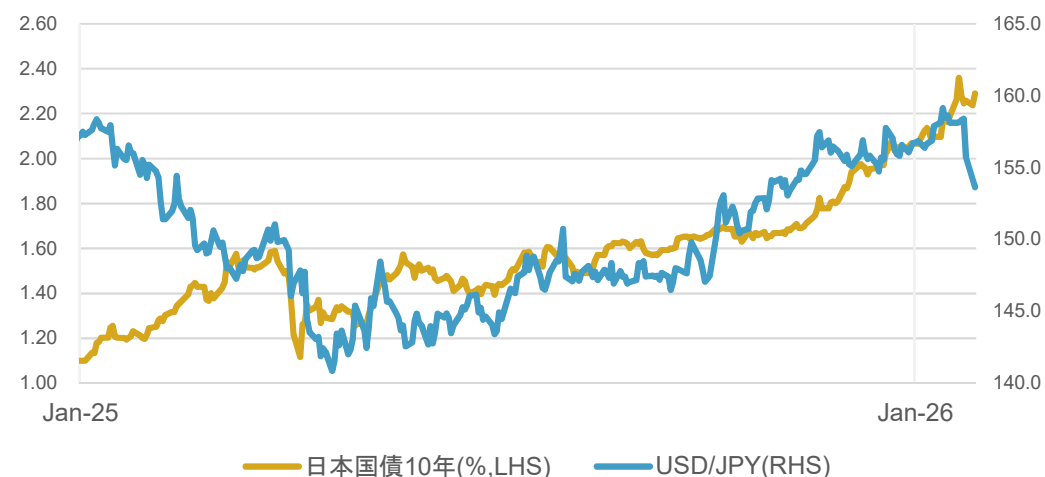


2025～2027年度の政策委員の大勢見通し

対前年度比、%、なお<>内は政策委員見通しの中央値。

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	(参考) 消費者物価指数 (除く生鮮食品・エネルギー)
2025年度 10月時点の見通し	+0.8~+0.9 <+0.9>	+2.7~+2.8 <+2.7>	+2.9~+3.1 <+3.0>
	+0.6~+0.8 <+0.7>	+2.7~+2.9 <+2.7>	+2.8~+3.0 <+2.8>
2026年度 10月時点の見通し	+0.8~+1.0 <+1.0>	+1.9~+2.0 <+1.9>	+2.0~+2.3 <+2.2>
	+0.6~+0.8 <+0.7>	+1.6~+2.0 <+1.8>	+1.8~+2.2 <+2.0>
2027年度 10月時点の見通し	+0.8~+1.0 <+0.8>	+1.9~+2.2 <+2.0>	+2.0~+2.3 <+2.1>
	+0.7~+1.1 <+1.0>	+1.8~+2.0 <+2.0>	+2.0~+2.2 <+2.0>

市場の日銀利上げ織り込み



# 【マーケットデータ】

## 【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
1/26	6.9579	6.9588	6.9535	6.9572	6.9843
1/27	6.9577	6.9593	6.9539	6.9576	6.9858
1/28	6.9500	6.9501	6.9447	6.9453	6.9755
1/29	6.9485	6.9565	6.9444	6.9460	6.9771
1/30	6.9530	6.9530	6.9476	6.9486	6.9678

## 【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
1/26	6.9512	6.9565	6.9441	6.9488	6.9516
1/27	6.9488	6.9567	6.9313	6.9337	6.9546
1/28	6.9337	6.9493	6.9319	6.9437	6.9400
1/29	6.9437	6.9547	6.9382	6.9447	6.9445
1/30	6.9447	6.9519	6.9437	6.9475	6.9478

\*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

## 【SHIBOR FIXING(%)】

	1/26	LOW	HIGH	1/30
ON	1.4200	1.3280	~	1.4200
1M	1.5558	1.5510	~	1.5510
3M	1.5978	1.5890	~	1.5890
6M	1.6135	1.6080	~	1.6090
1Y	1.6390	1.6280	~	1.6280

## 【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.9579	6.9593	6.9444	6.9486
100JPY/CNY	4.4976	4.5595	4.4941	4.5156
EUR/CNY	8.2485	8.3516	8.2342	8.2914
HKD/CNY	0.89244	0.89256	0.88971	0.89006
GBP/CNY	9.5080	9.6173	9.4952	9.5703

## 【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	154.92	155.35	152.10	153.11
EUR/USD	1.1840	1.2081	1.1834	1.1971
EUR/JPY	183.99	184.12	181.79	183.29
GBP/USD	1.3646	1.3868	1.3637	1.3809
AUD/USD	0.6896	0.7094	0.6892	0.7049

(Bloomberg)

# ご留意事項

## ・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム  
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穗銀行